

LIFESTYLE

SOTOKOTO MEETS CHIEKO KURODA & NORITO YASHIMA

いつも、ロハス日和 — always lohas

volume 7

干潟に潜む、真の生物多様性。

水深20〜50メートルと、浅い海が広がっている東京湾。それゆえ人間が手を加えやすく、人口増加やごみ処理等の問題に対処するため、江戸時代より小規模ながらも埋め立てられてきた歴史がある。そんな人工的なイメージが強い東京の臨海エリアにも、実は自然が息づいていることを知った。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Mari Kubota

昭 和30年ごろから東京湾では大規模な埋め立てが始まり、水辺の豊かな自然が急速に姿を消し始めた。1989年、自然の回復を目的に整備された葛西臨海公園を訪れ

た八嶋さんと黒田さん。大観覧車に乗り、地上117メートルからまるで鳥になったような気持ちで東京湾を見下ろした。この公園のほか、隣接する海浜公

園や葛西臨海水族園で環境学習を行う「葛西臨海たんけん隊」に所属する鳥屋尾健さんにガイドを依頼。海浜公園は人工の干潟でできており、開園から20年経った今では多様な生



葛西臨海水族園で、サメとエイを触る体験をした八嶋さんと黒田さん。副園長・坂本和弘さん(写真中)から人差し指と中指の2本の指で触るよう説明を受け、早速トライ。「滑らかだけど、ザラッとした感じ!」と八嶋さん。



強面で無表情だが、触られてもスーッと優雅に泳いでいたドチサメ。

黒田知永子 × 八嶋智人



くろだ・ちえこ●1961年生まれ、東京都出身。短大在学中、ファッション雑誌『JJ』のモデルとしてデビュー。一時モデル業を休業したのち、『VERY』のモデルとして活動を再開。以後、『STORY』や『eclat』の表紙キャラクターを務めるほか、テレビドラマやバラエティ、CMなどあらゆる分野で活躍している。



やしま・のりと●1970年生まれ、奈良県出身。劇団カムカムミニキーナの主要メンバー。11月に舞台「水際パン屋」に出演予定(カムカムミニキーナ <http://www.3297.jp/>)。個性的なキャラクターで人気を集め、数多くのテレビドラマ、映画、バラエティ、ラジオ、テレビCMにも出演し、マルチな才能を発揮している。



クロマグロをはじめ4種類のマグロが回遊している様子が見られる、人気の展示のひとつ。

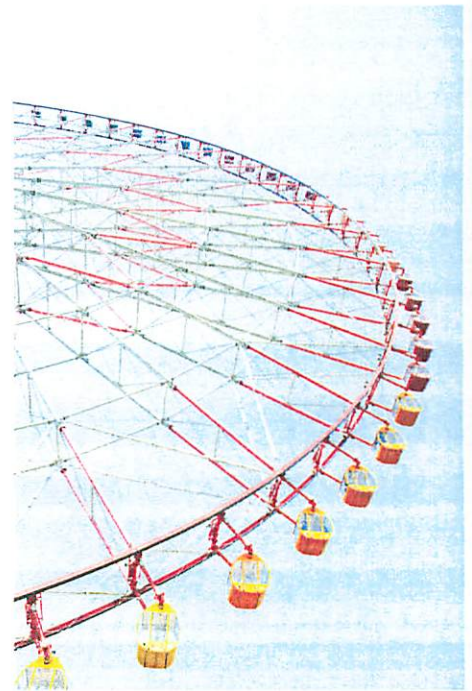
物を目にすることができると教わった。二人は、東京湾についてもっと詳しく学ぶことに。

次に訪れたのは葛西臨海水族園。同園の副園長・坂本和弘さんにお話を伺った。東京湾の豊かさは、江戸時代以前にまでさかのぼり、1000年前までは、千葉県の富津岬と神奈川県内の観音崎を結ぶ線より内側の東京湾内湾の沿岸部は、干潟が多く見られた。当時の江戸には多くの人が住み、東京湾に流れ込む川などから栄養分の多い生活排水が流れ込んだおかげで、窒素やリンなどの栄養分がたくさんあり、植物プランクトンや海藻類が良く育ったんですよ」と坂本さん。そしてこれを餌とする動物プランクトンが増え、さらに二枚貝やゴカイ、小魚などの小さな生物が育ち……と、陸から海へ環境が変化する干潟には自然に食物連鎖が起きた。

そんな干潟では、ハマグリやアサリなどの貝類やシヤコなどの甲殻

類をはじめ、ハゼ、アナゴ、コハダ、スズキなどの多くの魚を獲ることができ、「江戸前の魚」として江戸の人々の暮らしを支えていった。八嶋さんと黒田さんは、これが今の「江戸前寿司」につながっていると知って、大いに納得できた様子。

さらに水族園では、東京湾に生息する生物が展示され、干潟や河口の生物をじっくり観察することができた。二人が感心したのは、干潟の水を透明にするアサリなどの貝類。こ



上/葛西臨海公園内にある大観覧車。地上117mから見える東京湾の様子は圧巻! 下/葛西臨海水族園の入り口。東京湾から吹き付ける潮風が気持ちいい。左下/鳥屋尾健さん(中)と一緒に、葛西臨海エリアを探検。

れらが有機物をとり込むことで濁った水がろ過され、きれいになってく過程を見学した。「わっ、すごい。こんなにきれいなっている!」と八嶋さんは小さな生物の働きぶりに

驚いていた。

そして海浜公園の干潟で暮らすカニも観察。泥場、砂地でも、波打ち際や水たまりでも、環境によって棲むカニが違ってくるそう。一見同じように見える干潟でも、わずかな違いに応じて多様な生き物が生まれることに黒田さんは感動した。

東京湾の生物多様性。都会のすぐ近くでも、たくさんの方が命が息づいていることを知る一日となった。



「いつも、ロハス日和」は毎回ナビゲーターの二人がロハスな場所を旅して、ロハスな人と出会い、ロハスな食を味わいます。爽やかな風。楽しい人。美味しい料理。そんなものに囲まれてロハスな気持ちで毎日を過ごす。「いつも、ロハス日和」のテーマは「懐かしい未来」。古き良き文化や生活を学び、未来へとつなげていく。地球にも人にもやさしい生き方を提案していきます!

10月の放送内容

10月は伊豆諸島のロハスジャーニー。誰も知らない「島」の魅力に迫る旅。海の幸はもちろん人々との触れ合いがいっぱい。イルカウォッチングにも挑戦です。

毎週木曜日夜10時~10時55分

いろんな生き物が干潟には暮らしているよ!

